

東海地方の伝統工芸に触れ環境を大切に
にする暮らしを考えてと、職人さんや共
鳴する人たちが会を作り、子供教室を開
いています。学ぶのは昔から伝わる工芸
技術を利用したはし袋やエコバッグ作り
など。活動を通して伝統工芸と環境のか
わりを見てみましょう。

子供教室を開いているの
は、愛知、岐阜、三重の伝
統工芸士ら約十五人で作る
「持続可能な伝統文化を守
る会」。最近も名古屋市
で「自分のエコバッグを作
る教室」が行われました。

参加したのは小学生約十
人。伝統の絞り染めで作る
バッグです。糸と針で絞り
の模様を縫い、染色まで行
う本格的な方法です。みん
な懸命に取り組み、世界で
一つのあい色のバッグを完
成させて満足そうでした。

この会の理事長で名古屋
黒紋付染伝統工芸士の中村
修さんは「伝統工芸は昔か
ら自然の原材料を使い、環
境に優しい方法で作ってき
ました。その文化に触れ、
見直してもらえればと始め
たんです」と言います。

活動の言い出しっぱ、安
徳秀雄さんは「伝統工芸は
暮らしにも思いついていまし
た」と具体的に説明してく
れました。例えば着物。昔
古すと布団皮に、その後は
座布団、それも傷めばはた

伝統工芸から環境を考えよう



中村修さん（左から2人目）たちに教えられ、伝統の技術でエコバッグを作る小学生たち一名古屋市西区の中村さんの工房で（大橋真由美さん提供）

自然の材料で絞りや染色

き、ぼろぞうきんと変身。
「最後は土俵に入れたんで
すよ」と、びっくりするよ
うな話が飛び出しました。

物を大切に使い、将来に
つなげる文化でもあったの
です。「それを子供に分か
ってほしいと考えた」と安
徳さん。昨年、愛知県教育
委員会と一緒に「私たちが
生まれ育った愛知県の、染
の歴史・伝統・文化」体験
学習を行いました。

先生はメンバーの伝統工
芸士や名工、生徒は愛知県
きんごくに、みんな驚きま



子供たちが作った見事な作品と、説明する
大橋真由美さん一名古屋市中区の教室で

歌を教わり舞台裏も探検しよう

ステージ上でゴスペルサークル
に歌い方を教えてもらった後、その
舞台裏を探検できるツアーに
参加してみませんか？ 照明や音
響の舞台装置を操作できるよ。歌
を教えてくれるのは名古屋を中
心に活躍している「GOSPEL-
J」のメンバーです。ライブも見
られます。

2009年1月12日の午後1時半か
らと午後4時からの2回、20組ず
つ。場所は名古屋市青少年文化セ
ンター アートピアホール。必ず
保護者の人と一緒に参加してね。
参加費は無料。

申し込みは往復はがきかファク
スで12月19日までに。応募多数の
場合は抽選。詳しくはアートピア
ホール＝電052(265)2088＝へ。

した」。さらに、はし袋を
作って、はしを持ち歩けば
ごみが減らせることにも気
付きました。

参加者は「もちはし推進
ジュニア応援隊」を結成。
環境省のこともエコクラブ
に登録しました。小中学生
は「はし袋を作り地球環境
につながることを知った」
「もう少し伝統工芸に関心
を持つようにしよう」など
と感想を寄せています。

活動は小中学生に伝統産
業の魅力を伝える名古屋市の
の事業にも選ばれ、十二月
から教室を開きます。大橋
さんは「日本人として伝統
文化を知ることが大切。楽
しいことがいっぱいあるの
で、みんなも挑戦してほしい
」と呼びかけています。

問い合わせは電話、ファ
クスとも052(4333)
2550。ホームページは
こどもの教室o2から。

日本の文化も見直せるよ

編集室から リポート、詩、短歌、俳
句、川柳、絵、写真、リトル・シエフ、
あて先へ送ってください。〒46008
5-11 中日新聞こども新聞編集室。